

単元名 たし算とひき算の筆算

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 十進位取り記数法の理解を深め、(3位数)±(3位数)や簡単な(4位数)±(4位数)を繰り上がりや、繰り下がりに気を付けて、正しく筆算で計算することができる。
- (2) 100を単位とする計算の仕方を考えることができるとともに、既習の2桁の計算の仕方を基に(3位数)±(3位数)の筆算の仕方を考えることができる。
- (3) 筆算のよさが分かり、進んで活用しようとする。

標準的な展開例

03040105_001

【準備等】計算棒の図

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 (3位数)+(3位数)で、1回繰り上がりのある筆算の仕方を考える。[p.38・p.39]</p> <p>○単元の学習課題をつかむ。 ★3けたの数の筆算のしかたを考えていこう。</p> <p>○154+237の筆算の仕方を考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 桁数が増えても既習の筆算の場合と計算の仕方は同じなので、第2学年で学習した(2位数)+(2位数)=(3位数)になる場合の筆算の仕方を想起させ、それを基に計算の仕方を見付けさせる。 文房具を買いに行く場面から、買い物などでは3位数のたし算を多く使うことを気付かせる。 繰り上げた「1」をメモする位置を学年で統一しておいた方がよい。(例：154の「5」の上) 一の位の繰り上がりに注意させる。 <p>【評】(3位数)+(3位数)の1回繰り上がりのある筆算を行う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>2 (3位数)+(3位数)で、2回繰り上がりのある筆算の仕方を考える。[p.40]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★十の位にくり上がりがある筆算のしかたを考えよう。</p> <p>○265+178の筆算の仕方を考える。</p> <p>○538+267と508+292の筆算に取り組む。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年で学習した(2位数)+(2位数)=(3位数)で繰り上がりがある場合の筆算の仕方を想起させ、それを基に計算の仕方を見付けさせる。 問題文から一の位も、十の位も、和が十より大きくなることに気付かせる。 児童の実態に応じて、計算棒を操作しながら確かめさせる。 和の各位で空位になることがあることに気付かせる。 個別指導を重点的に行い、定着を図る。 <p>【評】(3位数)+(3位数)の2回繰り上がりのある筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>3 (3位数)+(3位数)=(4位数)になる場合の筆算の仕方を考える。[p.41]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★百の位にくり上がりがある筆算のしかたを考えよう。</p> <p>○724+635, 634+589の筆算の仕方を考える。</p> <p>○753+264, 856+149の筆算に取り組む。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の加法の筆算の仕方を基に、計算の仕方を自分なりに見付けさせる。 「みんなで考える問題」を読ませ、百の位の和が十より大きくなることに気付かせる。 百の位だけ繰り上がりがある場合と、その他の位にも繰り上がりがある場合とを見極めながら考えさせる。 空位に注意させる。 連続して空位が生じることもあるので、注意させる。 <p>【評】(3位数)+(3位数)=(4位数)の筆算を行う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>4 (3位数)-(3位数)で、十の位に繰り下がりのある筆算の仕方を考える。[p.42・p.43]</p> <p>○「みんなで考える問題」を読み、式を立てる。</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★3けたの数をひくひき算の筆算のしかたを考えよう。</p> <p>○324-182の筆算の仕方を考える。</p> <p>○172-154, 235-184の筆算に取り組む。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年で学習した(2位数)-(2位数)で繰り下がりがある場合の筆算の仕方を想起させそれを基に計算の仕方を自分なりに見付けさせる。 全体から残りを求める問題であることから、減法であることに気付かせる。 一の位の数がひけないことから、十の位が繰り下がることに気付かせる。 十の位が空位の答えになる場合があることに注意させる。 <p>【評】(3位数)-(3位数)で、十の位に繰り下がりのある筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>5 (3位数)-(3位数)で、2回繰り下がりのある筆算の仕方を考える。[p.44]</p>	<ul style="list-style-type: none"> (3位数)-(2位数)=(2位数)で繰り下がりが2回ある場合の筆算の仕方を想起させ、それを基に計算の仕方を自分なりに見付けさせる。

<p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★ 一の位も十の位もくり下がりがある筆算のしかたを考えよう。</p> <p>○ $321-185$の筆算の仕方を考える。</p> <p>○ $321-185$の答えが正しいかどうかを確かめる。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>6 (3位数)－(3位数)で、繰り下がりが2桁に及ぶ筆算の仕方を考える。[p. 45]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★ ひかれる数の十の位が0で、くり下げられないときの筆算のしかたを考えよう。</p> <p>○ $302-165$の筆算の仕方を考える。</p> <p>○ $300-126$, $1000-368$の筆算に取り組む。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>7 加法と減法の筆算の練習問題に取り組む。[p. 46]</p> <p>○ 「練習」に取り組む。</p> <p>8 (4位数)±(4位数)の筆算の仕方を考える。[p. 47]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★ 3けたの数の筆算をもとにして、4けたの数の筆算のしかたを考えよう。</p> <p>○ $5678+1414$, $8472-7654$の筆算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>○ たし算やひき算の筆算の問題をいろいろつくり、計算する。</p> <p>9 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 48・p. 49]</p> <p>○ 「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○ 学習の振り返りを書く。</p>	<p>る。</p> <p>・ 「みんなで考える問題」を読ませ、一の位同士や十の位同士がひけないことに気付かせる。</p> <p>【評】(3位数)－(3位数)の筆算の仕方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ ひかれる数と差をひっくり返してたし算を行い、確かめをする。</p> <p>・ 繰り下がりの様子をメモすると、間違いが少なくなることに気付かせる。</p> <p>・ (3位数)－(2位数)＝(2位数)で被減数の十の位が空位である場合の筆算の仕方を想起させ、それを基に計算の仕方を自分なりに見付けさせる。</p> <p>・ 十の位から繰り下げることができないことに気付かせ、百の位から繰り下げるにはどうすればよいか思い出させる。</p> <p>・ ひかれる数の十の位と一の位が空位であることに注意させる。</p> <p>・ 十の位が空位の時は、百の位から繰り下げることに気付かせる。</p> <p>【評】(3位数)－(3位数)で、繰り下がりが2桁に及ぶ筆算を行う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 個別指導を重点的に行う。</p> <p>【評】「練習」に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 既習の加法の筆算の仕方を基に、計算の仕方を自分で見付けさせる。</p> <p>・ (3位数)＋(3位数)＝(4位数), (3位数)－(3位数)＝(2位数)になる場合の筆算の仕方を想起させ、計算の仕方を自分で見付けさせる。</p> <p>・ 繰り上がり、繰り下がりについて注意して計算させる。</p> <p>・ 答えまで自分で求めさせる。</p> <p>・ できた問題は友達と交換して解かせる。</p> <p>【評】4桁同士の加減法の問題をつくる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</p> <p>・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。</p> <p>【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ たし算とひき算の筆算について分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。</p>
---	---

【 備 考 】

本単元では、既習の2位数同士の計算の手順を基にして、3位数同士の加減計算の仕方を考えさせることが大切である。また、筆算形式の指導においては、繰り上がりや繰り下がりの条件や空位の扱いが出てくるので、段階を追って系統的に指導していく必要がある。また、4位数同士の計算の学習では、児童に計算の仕方を考えさせ、それを基にまとめることで、3位数までの計算方法と変わらないことを理解させる方法もある。本単元についてはプログラミング的思考を扱うこともできる。